

Press release

※このリリースは香港で3月5日に発表されたリリースの翻訳です。



JASDEC が SWIFT を導入

日本の金融サービスコミュニティを ISO20022 の国際的導入につなげる

2014年3月7日東京 - SWIFT は本日、証券保管振替機構(JASDEC)が1月6日付けでISO20022 認証を受けた SWIFTNet の稼働を開始したことを発表しました。これは大規模な証券市場インフラ(SMI)がエンド・ツー・エンドの決済に国際標準を採用した初めての例となります。

SWIFT アジア太平洋地区担当証券市場責任者であるクラウド・クォンは次のように述べています。「SWIFT は 2007 年以降、ISO20022 認証によるメッセージ・フォーマットと接続性の国際化・標準化を目指して、JASDEC と緊密に協力してきました。この大きな取り組みにより日本の中央証券預託機関は国際的競争力を大きく伸ばし、相互運用性とプロセスの効率性が強化され、さらに市場の機能性も高められます」

2014年1月から2018年12月にかけて、すべての市場参加者のメッセージ・フォーマットがISO20022 へ移行される予定です。

また、SWIFT アジア太平洋地区担当標準化責任者であるアレクサンドル・ケシュは次のように述べています。「JASDEC は ISO20022 の採用におけるパイオニアです。今回の採用は日本の金融サービス産業にとってだけでなく、世界中の市場参加者にとって知識を増やす素晴らしい機会となりました。これは DTCC や T2S による ISO20022 の採用と共に、ISO20022 の国際的知名度向上に大きく貢献しています」

これに関連して1月6日、HSBC は SWIFTNet を通じて初めて JASDEC へ ISO20022 メッセージを送信しました。SWIFT のアジア太平洋地区 HSBC リレーションシップ・マネージャーのダニエル・デウエイエルは「既存の SWIFT インフラを再利用することで業務上の柔軟性が増し、費用効果やリスク管理体制が向上し、また JASDEC へのグローバルなアクセスも可能になるなど、HSBC にとってもたくさんの利点が生まれています。また、ISO20022 の導入は実現可能であるという業界全体に対する強いメッセージとなった他、JASDEC にとっての SWIFT 利用の多くのメリットを示す

Press release

ことで、今後この業界の参加者を増やすうえで次のフェーズにつながる絶好の例となったと思います」と述べています。

SWIFT の Alliance Lite2 サービスを利用して JASDEC にアクセスした最初の事例は、今村証券株式会社となりました。SWIFT Alliance Lite2 はクラウド型サービスで、簡単でコスト効率が高く、安全に SWIFT のネットワーク、サービス、関連アプリケーションにアクセスが可能となります。

SWIFT は 30 年以上前より日本に進出し、アジア太平洋地区に 8 つのコマーシャルオフィスとサポートオフィス、オペレーショナル・セントラル・コントロールセンターを置いています。また、クアラルンプールには 2013 年 3 月に開設した法人サービスセンターが設置されています。

.....

SWIFT について

SWIFT はメンバーが所有する協同組合形式の団体であり、世界 212 の国と地域、10,000 社以上の銀行、証券会社、事業法人などを接続したコミュニケーションプラットフォーム、および製品やサービスを提供しています。SWIFT はユーザー間での金融情報の通信・データ交換を自動化、標準化された安全性の高い確実な手段で提供し、その結果としてユーザーのコスト引き下げ、オペレーションのリスク削減や非効率性の排除を実現しています。また SWIFT は、金融業界との協働を通じて、市場慣行の形成、標準仕様の定義、共通する諸問題に関する意見交換・論議の場を提供するなど、業界全体のまとめ役としての役割も果たしています。

詳細については、www.swift.com をご参照いただくか、下記までお問い合わせください。

SWIFT 広報代理(ウェーバー・シャンドウィック)
今泉 有里/加々美 陶子 TEL:03-5427-7412/7383 FAX: 03-5427-7311
Email: yimaizumi@webershandwick.com/tkagami@webershandwick.com